

プロトコール名		1クールの日数	放射線治療
前立腺癌 ドセタキセル+ダロルタミド療法		21日	■なし □あり
投与日	薬品名(※赤字は抗がん薬)		
day1	① 5%ブドウ糖 50mL + デキサート6.6mg ② 5%ブドウ糖 250mL + ドセタキセル 75mg/m ² ③ 5%ブドウ糖 50mL(フラッシュ用)		
day1-21	① ニューベクオ 1200mg /日 1錠300mg 1日4錠 1日2回に分服 朝夕食後		
コメント	ニューベクオ開始後6週以内に開始。最大6サイクル。d1-21:ニューベクオ1200mg/d(分2)。ADT併用。		

プロトコールに関する解説
遠隔転移を有する前立腺癌は、手術や放射線などの治療ではなく、薬物による全身治療を開始することが通常の流れとなります。一般的に初回治療時にはホルモン感受性前立腺癌の状態、治療後に癌が治療抵抗性を獲得してホルモン抵抗性となることが広く知られています。 本療法は、遠隔転移を有するホルモン感受性前立腺癌に対して、初回治療として効果が示されている治療法です。臨床試験により、本療法は、これまでの標準治療であるドセタキセル化学療法+アンドロゲン遮断療法(リュープリン、ゾラデックス、ゴナックスなどの皮下注射)と比べて、ニューベクオ内服+ドセタキセル化学療法+アンドロゲン遮断療法を併用することで優れた治療成績が示されました。グレード3以上の副作用は、66.4%対63.5%とほぼ同等でした。副作用が強い場合は、減量、減薬や休薬などの調整が必要になることがあります。